

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	環境生活総務課	氏名	竹内 福太郎
派遣先 団体名	特定非営利活動法人おやこ劇場松江センター		
① 研修の日時			
(1) 6/29 地域公演「けん玉公演」会場準備等			
(2) 8/26 おおたか静流コンサート会場準備等			
(3) 9/23 「やだやだあっかんべー」会場準備等			
(4) 10/25 岩田英作氏講演会会場準備等			
(5) 11/3 ちいさいひとたちのための人形劇「おふろだいすき」会場準備等			
② 研修の内容			
会場設営、事前打ち合わせや物品販売、来場者受付や入場者の方の案内等、主に公演当日の準備に参加させていただきました。			
③ 研修の感想			
<p>6月から11月までの計5回の公演で研修をさせていただきました。公演の対象も低年齢の幼児から主に親世代向けの講演まで幅広い活動に触れることができました。</p> <p>公演では、おやこ劇場松江センターの会員の方の他、大学生はもちろん過去に活動に関わった方が大勢来られていて、親子を中心にしながら、多様な世代・立場の方が活動に関わっておられることが印象的でした。また、鑑賞者であるこどもにも年齢に応じて役割があり、来場者の受付や公演前の案内、物販など会の運営に参加しており、公演を鑑賞するだけでなく、様々なシーンで周囲とふれあえる環境ができており、学校とは異なる交流、社会生活の場があることでとてもいきいきとした活動が行われていると感じました。</p> <p>こどもが公演前の打ち合わせに参加したり、公演の運営に参加することで、親世代と目線を合わせ、親世代が同じ公演と一緒に鑑賞することでこどもと経験を共有する双方向のコミュニケーションがとることができる、大事な機会・場所が提供されていました。</p> <p>個人的には今回の研修で、「何をしたいのか」が先で、「方法」は後にくるという当たり前のことの大切さを再発見できました。行政ではよく「協働」という言葉が使われますが、大事なものは「協働」という概念や方法ではなく、「目的」として何をしたいかが明らかなこと、という点を改めて感じました。(もちろん大事なことは他にもたくさんあると思いますが)</p> <p>鑑賞機会を提供するだけでなく、色々な人とふれあう機会を通じて、様々な考え方を受け入れ、人のつながりの輪を広げていく活動は、これまでもこれからもとても大切なことと思います。</p> <p>日常の仕事を長くしていると、どうしても形を整える、という方向によっていきがちです。机から離れて、短い期間ではありますが一緒に活動させていただくことで発想を柔らかくする、日常とは違った視点で考える貴重な経験をさせていただきました。</p> <p>最後に、研修を受け入れてくださったおやこ劇場松江センターのみなさま、本当にありがとうございました。</p>			
④ その他特記事項			

(注1) 研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2) 報告書は、平成 28 年 1 月 31 日までに人事課あてにメールで提出してください。